

## 第2回やまなし自然首都圏構想研究会概要

### 1. 日時

令和2年6月10日（水）15:00～16:30

### 2. 場所

山梨県防災新館401, 402会議室（テレビ会議システム）

### 3. 出席者

（顧問）田坂広志

（座長）東博暢

（委員）有賀翼、飯嶋利之、関岡真、中村和男、野村明弘、平林良仁、  
藤沢久美、丸山裕貴、山崎豪敏、渡辺大介 ※五十音順、敬称略

（ 県 ）長崎幸太郎知事

### 4. 主な意見

- ・ 移住や二拠点居住の希望者に向けて、体験移住を積極的にやっていくべき
- ・ ビジネスを地方に移していくためには、オフサイトミーティングや戦略会議、学会の誘致など、人や情報が集まり、刺激を受けられる環境が必要
- ・ インターネット環境、情報環境、教育環境を整えることで、山梨県が地方に住みたい人々の受け皿となることが可能
- ・ 研究会においては、ターゲットを具体的に設定し、どういった政策を行うか組み立てていくことが重要
- ・ パンデミック到来時に耐えられるよう、レストランのテイクアウト・デリバリー、異業種間での人材の融通、副業や兼業、事業者間の労働契約の斡旋といった、事業形態や労働形態の転換が可能な仕組みづくりを行政が支援していくべき
- ・ 山梨に住んでいる人からの視点も必要であり、県内での二拠点居住、デュアルモード社会の実現が、県外へのアピールにもつながる
- ・ かかりつけ医（プライマリーケア）の導入推進によるオンライン診療の充実といった医療環境等を充実させていくことが必要
- ・ 県外・国外に対して山梨県がどういう価値を提供できるかを洗い出すことが重要
- ・ 移住者等に向けた住居の供給体制として、居住可能な空き家を把握し、貸し出す仕組みを考えることが重要 など